

令和4年度愛知県内のエピペン使用事例（令和5年度市町村教育委員会学校給食主管課長会議資料より抜粋）

単位：件

学校別		発症時		原因		初発	エピペン使用者		救急車要請
小学校	23	登下校	6	運動誘発	5	11	本人	0	40
中学校	10	給食・昼放課	20	誤食	8		保護者	2	
高等学校	6	授業中	13	原因不明	26		教職員	22	
特別支援学校	2	その他	2	その他	2		医師等	17	

【事例傾向】

- ・ アレルゲンを除去しているにもかかわらず、アナフィラキシーショックが発症している。
- ・ 保健調査票で「アレルギーなし」や今まで食べて問題のなかったものでも、初発のアナフィラキシーショックを発症している。
- ・ 除去解除された子が再び発症することがある。（授業日の家庭での朝食で少しずつ解除していた事例もあり）
- ・ 給食中または給食後（掃除、昼放課、5限の体育）が圧倒的に多い。登校直後や行事など、給食以外の場面での発症もみられる。
- ・ 給食時の「誤食」事例は、小学校の低学年に多い。ほとんどが保護者の見落としと学校のチェック体制が薄いことによる見落としが重なった場合である。（献立確認を保護者任せにせず、複数での校内チェック体制を構築する必要がある）
- ・ 行事等、いつもと違う環境での食事の内容や対応については、事前に保護者及び宿泊先等をはじめとする関係者としてしっかり確認をする。また当日もその対応がなされているか確認をする必要がある。
- ・ 原因不明や初発の事例も多かったが、学校がアレルギー症状を判断し、エピペンの有無に限らず、比較的早く救急車を要請されている事例が多く見られた。

一部抜粋

学 年	原 因	発症時	状 況
高 2	乳製品 そば 落花生 えび かに	体育の 授業後	<p>○アレルギー対応の不備で運動誘発により発症したケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主治医から牛乳の 200ml の摂取可能の診断が出ている生徒。 ・給食対応として「飲用牛乳 200ml 摂取可」としていた。 ・給食後の体育終了後に眼瞼浮腫、目の充血、湿疹、かゆみがあり保健室来室。 ・養護教諭がエピペンを打ち、教科担任が救急車を要請、病院に搬送した。 ・給食のアレルギー対応を見直し給食での乳の摂取は完全除去対応に改善した。
小 3	乳	給食後	<p>○原因不明により発症したケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生の時は牛乳を除去していたが2年生から解除されて給食を1本飲んでいる。 ・清掃時間に本児の顔が赤く、全身に発疹があることに担任が気づき、養護教諭に連絡をし、 ・息苦しさもあったため担任がエピペンを打つ。救急車を要請し病院へ運んだ。 ・受診、再検査の結果、アレルギーとの関連性は特定できなかった。
小 1	乳	給食中	<p>○給食で『コーンスープ』（アレルギー乳）を誤食して発症したケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳アレルギーを有する児童が給食の（コーンスープ）を一口食べた。すぐに口唇の腫れ、顔の赤み、腹痛が出現する。 ・養護教諭が教室にかけつけ状況確認をし、内服薬を飲ませる。症状が改善せず咳が出始めたため、養護教諭がエピペンを打ち、救急車を要請し病院へ運んだ。 ・誤食の原因は、保護者の献立チェック漏れであった。保護者と学校での献立チェック体制を再確認した。

中 1	原因不明 (えび)	給食後	<p>○原因不明で発症したケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ えびアレルギーを有する生徒が給食で中華飯を食べた。本人がのどの違和感を覚えて担任に申し出る。 ・ 養護教諭が症状等を確認し保護者へ連絡。教頭が救急車を要請し、ドクターカー内でエピペンの処方を受けた。 ・ 学校はえびのアレルギーを把握していなかった。
高一	桃 ぶどう	授業中	<p>○運動誘発で発症したケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 給食ではアレルギー物質と思われるものは食べていない。 ・ 昼食後の体育中(バレーボール)中、汗をかいたら蕁麻疹が出てきたため保健室に来室。 ・ 冷やして様子を見ていたが、悪化し唇の腫れ、息苦しさが出て過呼吸症状が出始めたため養護教諭がエピペンを打ち、教頭が救急車を要請し、病院に搬送する。 ・ 後日の検査でトマトのアレルギーが判明する。
小 5	生の桃 キウイ りんご 洋梨 もやし	給食中	<p>○原因不明で発症したケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 給食ではアレルギーと把握しているものは食べていない。 ・ 給食中にのどの違和感を覚え、保健室に来室する。 ・ 目のかゆみと充血、声のかすれ、顔の腫れ、息苦しさと症状が悪化。救急車を要請し、病院での処置を受ける。 ・ 診察により、今まで食べてきた大豆の許容範囲を超えたのではないかとの診断により、「豆腐」が除去項目に加わる。
小 3	卵 乳・乳製品	給食中	<p>○給食で『抹茶プリン』(アレルギー乳)を誤食して発症したケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭と学校の献立表の見落としが重なり、給食の「抹茶プリン」を食べてしまった。 ・ 給食中に本人が誤って食べてしまったことを担任に申し出る。 ・ 時間差で2種類の内服薬を飲ませて、バイタルサインを確認しながら健康観察を続けたが、咳や鼻水の症状が出始めたため、担任がエピペンを打つ。 ・ 救急車を要請し病院へ運んだ。

小1	乳製品	給食中	<p>○給食で『彩りチーズ納豆』(アレルギー乳製品)を誤食で発症したケース</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食の時間「彩りチーズ納豆」を除去するはずだったが、本児に除去した皿を渡す頃に、担任が学級内で他のトラブル対応に追われてしまった。本人に指示はしたが、どの皿が配膳されたかまでは確認しなかった。 片付けの際に、担任が本人の瞼の腫れ、涙目に気づいて声をかけ、誤食を確認する。 のどの違和感を訴えたため、養護教諭がエピペンを打ち、救急車を要請する。救急隊の到着を待つ間に息苦しさや嘔吐の症状も出始める。病院での処置を受ける。
小2	原因不明	給食後	<p>○原因不明で発症したケース</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食後に悪心、発疹、息苦しさを担任に訴える。保健室で目の腫れ、せき、呼吸困難を確認し、救急車を要請し、病院で処置を受ける。 その後の検査で、「イカ」のアレルギーが判明した。
小1	乳 卵 そば ピーナツ	給食中	<p>○給食で『シチュー』(アレルギー乳)を誤食で発症したケース</p> <ul style="list-style-type: none"> 本児が除去する献立の際、食缶に掲示をして配膳しないように確認していたが、誤って配膳されてしまった。また、会食前には「受け取りチェック表」で担任と本人で確認しているが、確認前に「いただきます」の合図があり、乳入りのシチューを誤食してしまった・ 担任が誤食に気づき、保健室に来室。15分程して症状が出始める。(腹痛、咳、顔の赤み) 教頭が保護者への連絡と救急車を要請し、救急隊の指示により職員がエピペンを打つ。 事故防止のために、全教職員で対応を再確認し、「受け取りチェック表に」サインをしてから喫食を開始することを周知徹底した。
小6	鶏卵 小麦 果物類 魚類	修学旅行(朝食後)	<p>○修学旅行の朝食で代替食の『みそ汁』(アレルギー小麦)を誤食で発症したケース</p> <ul style="list-style-type: none"> 修学旅行中、朝食の代替食「みそ汁」を飲んだ。(少量の小麦が入っていることは事前に保護者の了承済み) 9:20 見学中に肘に発疹、かゆみがあり担任に申し出る。バスに戻り持参した薬を服用したが発疹が広がり悪化してきたため、保護者に連絡して校務主任がエピペンを打つ。 救急車を要請して病院へ搬送した。

小1	乳・小麦 クルミ メロン みかん 桃・キウイ 生トマト	給食中	<p>○給食で『乳の入っている献立』（アレルギー乳）を誤食して発症したケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段は代替食を持参しているが、この日は家庭の事情で代替食ではなく、入学後初めての対応食を食べることになっていた。しかし、教室でのチェックがされず職員室で対応食を渡す側の確認が遅れたため、本人が対応食を受け取ることができなかった。 ・乳の入った献立を一口食べ、5分程してのどのかゆみと痛みを担当に訴える。 ・本児を歩かせず、口唇のかゆみ等複数の症状を訴えたためエピペンを打つ担当が保護者へ連絡、教頭が救急車を要請し病院で処置を受ける。 ・事故後の改善点として、保護者、担任、管理職による献立のトリプルチェック、対応食の受け渡しについて確認。全職員に共通理解を図った。
小1	卵 乳	登校後	<p>○原因不明で発症したケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前日の給食後、両頬に蕁麻疹が見られたので保護者の迎えで帰宅する。給食ではアレルギーと把握しているものは食べていない。 ・翌日、登校後に両目の上下に発赤と、蕁麻疹が出ているのを担任が見つかる。養護教諭が確認すると息苦しさはなかったが、蕁麻疹が手足と全身に広がっており、ひどくなってきたため救急車を要請し、病院での処置を受ける。
小2	乳	給食後	<p>○給食で『夕張メロンゼリー』（アレルギー乳）を誤食して発症したケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳アレルギーのある児童が「夕張メロンゼリー」を食べた。給食後、教室で口のかゆみを訴えたため口をゆすぎ内服薬を服用したところ症状が落ち着いた。 ・その後、昼放課に縄跳びをして授業を受けていたところ、首、ほほのかゆみ、息苦しさを保健室にきた。養護教諭がエピペンをうち救急車を要請し病院へ搬送。 ・その後の調査で夕張メロンゼリーに乳が含まれていることが判明する。